

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名	福祉部	高齢福祉課
施設名称	(16) 東京都台東区立特別養護老人ホーム三ノ輪	指定管理者
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間
		H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話をを行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区三ノ輪1-27-11 [規模] 延べ床面積 9,617.23㎡のうち5,299.08㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち地上8階～地下2階部分、駐車場（共用）、浴室（機械浴、一般）、ボランティア室、居室、静養室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助〔食事、介護（排泄・入浴援助）〕、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等〔自主事業〕なし
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間
(6)	[人員体制] 40名（内訳）施設長（1）、事務員（2）、相談員（3）、介護職員（常勤25、非常勤2）、看護職員（6）、栄養士（1）

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	56,366,424	56,360,020	80,637,296	80,637,296
	利用料金収入	279,680,000	274,568,387	280,876,000	270,829,376
	その他収入（利用者等外給食費収入）	5,882,576	2,191,192	1,331,704	3,526,094
	計	341,929,000	333,119,599	362,845,296	354,992,766
支出	人件費	213,043,000	234,449,575	235,450,000	246,414,828
	光熱水費	34,979,000	29,691,747	35,619,000	27,053,737
	維持管理費（委託料・賃借料）	45,681,000	38,076,953	43,609,000	37,687,361
	修繕費	1,440,000	1,155,346	1,440,000	1,870,415
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	46,786,000	40,066,602	46,727,296	45,945,194
	計	341,929,000	343,440,223	362,845,296	358,971,535
収支			-10,320,624		-3,978,769

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	67	67	67	67

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率（特養＋ショート）	%	97	97.7	94.2	95.4
利用者数（特養＋ショート）	人	23,760	23,887	23,091	23,319

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
利用者の体調変化が現れたときには、早めの医療機関への受診をすることで重症化を防ぎ、また誤嚥性肺炎予防のため、利用者の健康を考慮した食事を提供し、利用者の体調の安定を図る等、高い利用率の維持に取り組んでいる。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令の遵守、収支予算書の提出等、適正な運営がされており、非常勤職員や短時間勤務職員を含む全職員を対象とし、「倫理・法令順守」というテーマで毎年、施設内研修を行う等、適正な管理運営に努めている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	職員の現状の介護力を測れる指標(チェックシート)を作成し、28年度は「食事」の指標を基にした実践研究発表を行う等、職員の介護力向上に継続的に取り組んでいる。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
17 / 20 点	複合施設として、設備の定期保守・衛生管理は、適切に行われているが、建物全体が老朽化しているため、突発的な故障にも即時に対応できるよう、日頃より危機管理体制を整えておく必要がある。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
19 / 20 点	28年度の利用率は目標値には至らなかったものの、昨年度よりやや上昇した。満足度調査結果も概ね良好であり、「職員の介護や看護に関する専門的知識や技術などに満足しているか」の問いに、89%の利用者が「はい」と回答する等、サービスの向上に努めている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用率、利用人数が前年度よりやや上昇しており、結果として収支は改善されてきている。今後も、施設の経年劣化による必要な修繕は行いつつ、収支が黒字になるよう引き続き効率的な運営に努めていく必要がある。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 93 / 110点)	<p>【所見】 職員の介護力を測る指標を設定し、その指標に基づく実践研究発表を行う等、介護力向上に積極的に取り組んでいる。今後も、地域社会との連携や、高いサービス水準を維持しつつ、ショートステイについて広報活動を強化し、利用率向上の取り組みを継続的に行っていく必要がある。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・利用料金収入確保に関して、より一層の工夫が必要である。</p>